

## 授業実践のまとめ

小学校外国語科 5学年 単元名 自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう(全7時間)

単元を通して身に付けさせたい資質・能力 お気に入りの場所について、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合う。

単元ゴールの言語活動 自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう。

### 1 単元の目標

互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、具体的な情報を聞き取ったり、相手に伝わるように工夫しながら、建物や施設の場所や位置などについて、質問したり質問に答えたりして伝え合ったりすることができる。

### 2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〈知識〉 建物や施設の言い方や、Where is ~? Turn right[left]. You can see it on your right[left]. It's on your right[left].の表現について理解している。 〈技能〉 建物や施設の場所や位置などについて、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置など具体的な情報を聞き取っている。	互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置など、具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと「やり取り」	〈知識〉 建物や施設の言い方や、Where is ~? Turn right[left]. You can see it on your right[left]. It's on your right[left].の表現について理解している。 〈技能〉 互いのお気に入りの場所や位置などについて、建物や施設の言い方や、Where is ~? Turn right[left]. You can see it on your right[left]. It's on your right[left].の表現などを用いて、尋ねたり答えたりして伝え合う技能を身に付けている。	互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に伝わるように工夫しながら、質問したり質問に答えたりして伝え合っている。	互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に伝わるように工夫しながら、質問したり質問に答えたりして伝え合おうとしている。

単元の目標や評価規準の設定については、国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を御参照ください。



### 3 単元の指導と評価の計画(全7時間)

※聞は「聞くこと」、やは「話すこと[やり取り]」の領域を示しています。

	目標(◆) 活動内容(○)	評価(・)〈評価方法〉			
		知	思	主	評価(・)〈評価方法〉
①単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、児童に単元の見通しをもたせる場面を設定します。	◆建物や施設の言い方や道案内の英語表現を聞いたり言ったりすることができる。 ○Small Talk：お気に入りの場所 指導者の話を、反応したり、質問に答えたりしながら聞く。 ○自分のまちのお気に入りの場所を伝え合うという単元ゴールの言語活動への見通しをもつ。 ○指導者のお気に入りの場所について具体的な情報を聞き取る。 ○建物や施設、道案内の英語表現を聞いたり言ったりする。 ○学校周辺には、どこにどのような建物や施設があるのか伝え合う。	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。 [指導に生かす評価]			
1(本時)					

②単元ゴールの言語活動に向かって、言語活動と指導を繰り返し行います。「漆塗り型」の指導展開を踏まえ、第6時の単元ゴールの言語活動(青の枠囲み)に向けて、ステップアップの言語活動(緑の枠囲み)を繰り返し設定しています。  
[「単元デザイン FIRST STEP」](#)

④単元末に単元ゴールの言語活動を設定します。以下の4つの視点を踏まえて、設定することが大切です。  
 I 伝え合う目的や必然性  
 II 相手意識  
 III「本物」のコミュニケーション  
 IV 伝え合うことの喜びや意義  
[「単元デザイン FIRST STEP」](#)

⑤単元の学習を振り返る時間を設定し、児童の学習改善や教師の指導改善につなげます。

<p>2</p> <p>◆建物や施設の言い方や道案内の英語表現を聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>○Small Talk：様々な場所 指導者の話を、反応したり、質問に答えたりしながら聞く。</p> <p>○Let's Listen3 人物の様子からどこに道案内をしたらよいか考える。 音声聞いて確かめる。 地図上で建物や施設までの道案内をする。</p> <p>○Let's Play3 目的に合わせて道案内する場所を考え、地図上で道案内する。</p>	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> <p>[指導に生かす評価]</p>
<p>3</p> <p>◆部屋にある物の場所や位置関係を表す表現を聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>○Let's Play5 ポインティング・ゲームをする。 指導者が言うものを指し示す。</p> <p>○Let's chant3 on in under byの表現を聞いたり言ったりする。</p> <p>○Let's Play6 ヒントを聞いて、友達の探し物を当てる。</p>	<p>本時では、[話すこと [やり取り]]については、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> <p>聞</p> <p>・建物や施設の言い方や、Where is ~? Turn right[left]. You can see it on your right[left]. It's on your right[left].の表現について理解している。          【知】〈行動観察・メモや振り返りカード記述分析〉          [記録に残す評価]</p>
<p>4</p> <p>◆互いに宝物の場所や位置など、宝物である理由を尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。</p> <p>○Small Talk：宝物 指導者の話を、反応したり、質問に答えたりしながら聞く。</p> <p>○Let's chant2 場所や位置などを尋ねたり答えたりする英語表現を聞いたり言ったりする。</p> <p>○Let's Play7 自分の宝物の場所へ道案内をし、宝物である理由を伝える。</p>	<p>本時では、[話すこと [やり取り]]については、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> <p>聞 聞</p> <p>・互いの宝物が何か知り合うために、場所や位置など具体的な情報を聞き取っている。【思】〈行動観察・振り返りカード記述分析〉          ・互いの宝物が何か知り合うために、場所や位置など、具体的な情報を聞き取るようとしている。【主】〈行動観察・振り返りカード記述分析〉          [記録に残す評価]</p>
<p>5</p> <p>◆互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて伝え合うことができる。</p> <p>○地図上で自分のまちのお気に入りの場所へ道案内をする。</p> <p>○その場所を選んだ理由やお気に入りのポイントについても伝え合う。</p>	<p>や</p> <p>・建物や施設の言い方や、Where is ~? Turn right[left]. You can see it on your right[left]. It's on your right[left].の表現について理解している。          【知】〈行動観察・メモや振り返りカード記述分析〉          [記録に残す評価]</p>
<p>6</p> <p>◆互いのお気に入りの場所について知り合うために、相手に伝えるように工夫しながら建物や施設の場所や位置などについて伝え合うことができる。</p> <p>○Small Talk:お気に入りの場所 指導者が伝える学校や児童についての話を反応しながら聞く。 伝える内容の構成、英語表現、伝えるときの態度や表情、ジェスチャーなどの音声以外の非言語情報の観点からよくできている点、工夫が必要な点を考える。</p> <p>○相手に伝えるように工夫しながら自分のまちのお気に入りの場所を伝え合う。</p>	<p>や や</p> <p>・互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に伝えるように工夫しながら、質問したり質問に答えたりして伝え合っている。【思】〈行動観察・振り返りカード記述分析〉          ・互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に伝えるように工夫しながら、質問したり質問に答えたりして伝え合おうとしている。【主】〈行動観察・振り返りカード記述分析〉          [記録に残す評価]</p>
<p>7</p> <p>◆音声で十分に慣れ親しんだ単語を書き写すことができる。</p> <p>○Let's sing abcd Song</p> <p>○単語を書き写す。 指導者が言う単語のカード選び、4線上に正しく書き写す。</p> <p>○単元の学習を振り返る。</p>	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> <p>[指導に生かす評価]</p>

③児童の学習状況を適宜把握する場面を設定します。当該単元では、第3時、第4時に「聞くこと」の領域において〔記録に残す評価〕を行います。また、第5時、第6時に、「話すこと[やり取り]」の領域において〔記録に残す評価〕を行います。それらに加えて、〔指導に生かす評価〕を毎時間行い、目標に向けて指導を行います。  
[「学習評価 FIRST STEP」](#)

4 本時の目標

建物や施設の言い方や道案内の英語表現を聞いたり言ったりすることができる。

5 本時の展開(1/7) [「授業づくりのポイント チェックシート」](#)

児童の活動	指導者の活動 (○) 評価 (◎) 〈方法〉 指導改善例 (●)	準備物
<p>1 指導者のお気に入りの場所についての話を、反応したり、質問に答えたりしながら聞く。</p> <p>【Small Talk】</p> <p>・○○先生は、嬉野市出身なんだ。</p> <p>・嬉野市には、素敵な場所がたくさんあるんだな。</p> <p>・行ってみたいな。</p>	<p>○既習表現を用いたり、児童に問い掛けたりしながら話す。⇒ <b>工夫1:Small Talk の例</b></p> <p>T: I like my hometown. Where am I from? I'm from ... Please guess.</p> <p>○既習の語句や表現を使って児童とやり取りをし、その定着を図る。</p> <p>○本単元で扱う語句や表現を自然に聞いて理解できる場面を設定することで、意味の理解を促す。</p> <p>○本単元のゴールの言語活動を共有する。</p>	<p>写真</p>
<p>単元ゴール：自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう。</p>		
<p>2 単元のゴールの言語活動を確認する。</p>	<p>○互いのことを理解するために、自分のまちのお気に入りの場所を伝え合うことを確認する。</p>	
<p>本時のめあて：どこにどのような建物や施設があるのか伝え合おう。</p>		
<p>3 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○学校周辺の地図を用いて、どこにどのような建物や施設があるのかを伝え合うことを確認する。</p> <p>○児童が指導者のお気に入りの場所を予想することで、相手への興味を高めて聞くことができるようにする。</p> <p>T: You are here. OK? Turn left. Go straight. Turn right. Go straight. Go straight. Turn right. Go straight. Turn left. Go straight. You can see it on your right. What is my favorite place? C: Library? T: That's right. My favorite place is the library.</p>	<p>学校周辺の地図</p>
<p>4 指導者のお気に入りの場所について具体的な情報を聞き取る。</p> <p>・○○先生のお気に入りの場所はどこかな？</p> <p>・“library” って聞こえた。</p> <p>・なぜ図書館が好きなのかな？</p>		

ポイント



【コミュニケーションを行う目的や場面、状況などの設定】

- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを明確にして単元ゴールの言語活動を児童と共有します。

【場面設定】

- ・実際に住んでいるまちやそこにある建物、施設を扱うことで、児童は身近なやり取りとして捉えることができます。
- ・その際、生活科や社会科の学習で使った地図を活用すると他教科との関連を図ることができます。

【「聞くこと」についての指導】

- ・児童が目的をもって聞くことができるようにします。児童が十分に意味を理解できていない場合は、繰り返し聞く機会を設けたり、身振りや表情、ジェスチャーなどの非言語要素を活用して、児童が推測できるようにしたりしながら意味を理解できるようにします。













<p>5 建物や施設、道案内の英語表現を聞いたり言ったりする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生のときに学習した道案内の英語表現が聞こえた。</li> <li>・図書館以外の建物の言いか方も知りたいな。</li> </ul> </div> <p>6 学校周辺には、どこにどのような建物や施設があるのか伝え合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>C: Turn right. Go straight. Go straight. Go straight. OO-kouen! 「OO公園」って何と言えればいいかな。</p> </div> <p>7 本時の活動を振り返る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの友達のお気に入りの場所はどこだろう。</li> <li>・私のお気に入りの場所を友達に伝えたいな。</li> </ul> </div>	<p>◎建物や施設の言い方や Where is ~? Turn right[left]. You can see it on your right[left]. It's on your right[left]. の表現について理解している。〈行動観察・振り返りカード記述分析〉</p> <p>●どのような語句に注目して聞けばよいかを示したり、聞き取った建物や施設を指さしたり、方向をジェスチャーで示したりするよう促し、一緒に Go straight. Turn right.などの英語表現を言って音声と意味との一致を図る。</p> <p>○ほかにどのような英語表現が聞こえてきたかを問い掛け、本時のめあてを達成するために必要な語句や英語表現に気付くことができるようにする。</p> <p>○道案内については、動作をしながら言うことで英語表現とその意味の理解を促す。</p> <p>○表現に不慣れな児童が安心して取り組むことができるように、音声に合わせて道案内のルートを示す。</p> <p>○教科書の地図にある建物や施設は学校周辺ではどこにあるのか伝え合うことができるようにする。</p> <p>○教科書に載っていない建物や施設について、その場所を知っている児童がいれば、道案内を聞き、地図上に書き入れる。</p> <p>○伝えたくても英語で表現できなかったことはなかったか問い掛け、一緒に表現を考えたり表現したりする。</p> <p>○反応しながら聞いている児童を称賛し、よい聞き方として全体で共有する。</p> <p style="text-align: center;">⇒ 工夫2:中間指導の例</p> <p>○単元のめあてを意識したり、本時にできるようになったことを振り返って次時以降の学習への見通しを立てたりしている児童を紹介して評価するとともに、ほかの児童と目指す姿を共有する。</p>	<p>絵カード</p> <p>学校周辺の地図</p> <p>振り返りカード</p>
---	---	---

**【振り返り】**  
 ・学習したことを振り返るため、振り返りの前に視点を明確にします。

6 本時における指導と評価の工夫

工夫1: Small Talk の例 [授業づくり FIRST STEP Vol.1 小学校外国語科「Small Talk」編一](#)

本時の児童の活動1「指導者のお気に入りの場所についての話を、反応したり、質問に答えたりしながら聞く【Small Talk】」の具体を示します。Small Talk を行うことで、既習表現や対話を続けるための基本的な表現の定着を図ります。5年生における Small Talk は、指導者の話を聞くことや指導者と児童がやり取りすることを中心に行います。

指導者と児童のやり取り	指導者の働き掛けのポイント
<p>【話題の導入】</p>  <p>I like my hometown. Where am I from? I'm from ... (間を取って発話を促します。) Please guess. I'm from Fukuoka? Karatsu? Shiroishi? (児童が何を答えればよいのか気付くことができるよう具体例を挙げます。) My hometown is famous for its hot springs, green tea, and a shinkansen station. (発話を促すためヒントを言います。)</p>	<p>児童が当該単元より前の単元で学習した言語材料を使ってやり取りができるような内容で話すようにします。</p> <p>質問したあとに、答えてほしいことの例を挙げることで、児童が何を尋ねられていて、何を答えればよいのかに気付くことができるようにします。</p>
<p>【繰り返し・一言感想】</p>  <p>Takeo? Good guess! But it's not Takeo.</p>  <p>Takeo!</p>	<p>指導者は、児童が話した内容の中心となる語を繰り返すことで、児童が発した言葉を確かめたり、児童に「伝わっているよ」というメッセージを伝えたりすることができます。</p>
<p>【繰り返し】</p>  <p>Ureshino?</p>  <p>Ureshino!</p>	
<p>※電子黒板に右の資料を提示する。</p> <p>【一言感想】</p>  <p>That's right. I'm from Ureshino. Ureshino is famous for its hot springs.</p> 	<p>質問を交えることで、児童が自分事として聞くことができるようにします。</p>
<p>【さらに質問】</p>  <p>Do you like hot springs?</p> <p>※数名とやり取りをします。</p>  <p>Yes.</p>	
<p>【一言感想】</p>  <p>Me, too. I like hot springs. It's very nice.</p>	<p>さらに質問をすることで、話を発展させながら対話を続けていくことができるようにします。</p>
<p>【さらに質問】</p>  <p>We have foot spas in Ureshino. Do you know "foot spa"?</p>  <p>Foot spa?</p>	

【ジェスチャーなどを加えて説明したり、言い換えたりする】

(足を指して) Only foot.  
You can put your feet in hot water.

あー、足湯のことかな？

【一言感想・さらに質問】

That's right.  
Foot spa means *ashiyu*.  
It's my favorite place.  
Do you like *ashiyu*?

Yes.  
It's very nice.

【話題を転換する】

I think so, too.  
(右の資料を指して)  
Look at this.  
You can do *chatsumi*.  
Do you like green tea?

No.

【繰り返し・一言感想】

Oh, you don't like green tea. It's OK.

Do you like green tea?

【児童の姿を価値付ける】

Yes, I do. I like green tea.  
今、質問してくれてうれしかったよ。  
私のことを知りたいと思ってくれたんだね。  
Thank you.

【本時に扱う場所の英語表現を交える】

(右の資料を指して)  
Look at this.  
We also have a shinkansen station in Ureshino.

あ、駅だ、駅。

【本単元のゴールの言語活動につなげる】

That's right.  
Station. Shinkansen station.  
(児童が駅を表す英語表現を理解できるように、児童の日本語を英語に言い換えます。)  
You can see tea gardens from the shinkansen.  
It's beautiful. It is my favorite place, too.  
Where is your favorite place in your city?  
Please tell me about your favorite place in your city.

言語だけでなく、身振りや表情、ジェスチャーなどの非言語的要素を活用することで円滑なコミュニケーションを図ることができるようにします。

相手の話したことに何らかの反応を示す“Me, too.” “That's right.” “It's very nice.”などの一言感想を述べることで内容を理解していることを伝えることができるようにします。

児童が単語で答えた内容を指導者は文章にして伝えています。児童が話した内容を繰り返して確かめると同時に文発話に導くための指導をしています。

児童が既習表現を使って質問できたことを称賛しています。児童が相手意識をもって対話を続けようとする姿を価値付けます。

本単元で扱う新出の建物を表す英語表現を何度も聞くことで、児童が英語の音声と意味を一致させることができるようにします。

本単元のゴールの言語活動につなげることで、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを理解できるようにします。

## 工夫2:中間指導の例

本時の児童の活動6「学校の周辺には、どこにどのような建物や施設があるのか伝え合う」での具体を示します。言語活動の途中に中間指導を複数回行います。中間指導では、伝えたくても英語で表現できなかったことはなかったか尋ね、一緒に表現を考えたり、反応しながら聞いている児童を称賛し、よい聞き方として全体で共有したりします。そして、児童が中間指導を生かして、言語活動に取り組むことができるようにします。

### 【児童のやり取りの変容】

#### 【言語活動①】

A: Hello! Where is ○○ park?  
 B: You are here. Go straight. Go straight.  
 Turn right. えーっと、ななめ。  
 A: こっち?  
 B: うん。

### 中間指導①

#### 【言語活動②】

A: Hello! Where is ○○ park?  
 B: You are here. Go straight. Go straight.  
 Go a little right.  
 You can see it on your left.  
 A: Left?  
 B: Yes.  
 A: Thank you.

### 中間指導②

#### 【言語活動③】

C: Hello! Where is the convenience store?  
 D: You are here. Go straight. Go straight.  
 Turn right.  
 C: (右を指さしながら) Turn right?  
 D: (うなずいて) Yes. Turn right. OK?  
 Go straight. Turn left.  
 You can see it on your left.  
 C: Left?  
 D: Yes. You can see it on your left.  
 C: OK. Thank you.

#### 【中間指導①での教師の働き掛け】

- ・伝えたくても英語で表現できなかったことを尋ねます。
- ・言語活動で使用する英語表現等の確認をします。



今、活動していて何か困ったことはありませんでしたか。伝えたいけど英語でどのように表現したらいいかわからなかったことはありませんでしたか。

斜めに行くってどのように言えばいいですか。



どのように伝えたらいいでしょうか。皆さんだったらどうしますか。

ジェスチャーをしたらどうですか。



なるほど。それもいいですね。では、これまでに学習した表現は使えませんか。

Go ...?



「斜めに行く」とは、どちらに行くのですか。別の言い方はありませんか。

少し右なんだけど・・・。

Small right?  
A little right?



「少し右に行く」なら言えそうですね。

Go a little right.



Good job. 皆さんも言ってみましょう。

Go a little right.

Go a little right.

#### 【中間指導②での教師の働き掛け】

- ・中間指導①で伝えることができるようになってきたことを賞賛します。
- ・相手意識をもってやり取りすることを確認したり、更に会話を続けるための表現を共有したりします。



Bさんは、Aさんの話をよく聞いて、繰り返して確かめていましたね。また、2人とも相手の顔をよく見ていました。相手が分かっているかどうか確かめながら話すことができていたのがよかったですね。友達のよいところは、ぜひまねてみましょう。



“right” “left”は正しく使えているかな？

ときどき分からなくなったり、間違ったりします。



OK. Let's practice.

※この後、“right” “left”の音声と意味を一致させるため、実際に体を右や左に向けながら英語表現を声に出し練習します。

## 7 授業者の声

今回、単元ゴールの言語活動を「自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう」と設定し、第5学年で授業実践を行いました。その際、「Ⅰ 伝え合う目的や必然性 Ⅱ 相手意識 Ⅲ 『本物』のコミュニケーション Ⅳ 伝え合うことの喜びや意義」の4つの視点を踏まえて単元ゴールの言語活動を設定し、児童と共有しました。

児童の振り返りシートに、「指導者のお気に入りの場所を聞いて今度は自分のお気に入りの場所を伝えたい」という内容の記述があったことや次時以降の学習の見通しを立てている児童も見られたことから、児童と単元ゴールの言語活動を共有することで、単元ゴールの言語活動に向けて児童の意欲を高めることができました。

また、単元ゴールに向けて本時（第1時目）から言語活動を中心に仕組んだ授業づくりができました。児童の活動1のSmall Talkでは、聞くことを中心とした活動を行いました。指導者が児童に問い掛けながら話すことで、児童は指導者の話になんらかの反応を示しながら自分事として聞くことができました。さらに、質問をする児童も見られたことから相手についてより詳しく知ろうとする姿勢が感じられました。児童の活動6では、児童は学校周辺にはどこにどのような建物があるか伝え合う活動に取り組みました。指導者は活動の途中で中間指導を行い、児童自身が伝えたいことを表現できるように働き掛けをすることができました。

今後も言語活動を中心に仕組んだ授業づくりに取り組みたいと思います。